

東京工業大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本市、益城町、御船町、宇城市等	4月25日～4月28日	文部科学省との文教施設応急危険度判定	技術系職員2名
益城中学校	8月17日	理科教育復興支援	学生6名、教員1名

<https://www.facebook.com/Titech.project/>



2. 支援物資の提供

提供先	物資
熊本大学	非常食1500食（4月28日※九州大学着）※九州大学（取りまとめ機関）

3. 義援金募集

- 一般社団法人 蔵前工業会（東京工業大学同窓会）と合同で行った。

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	666,007円	同窓生・一般の方、学内教職員、学生

4. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

- 熊本地震で研究室が破壊され実験ができなくなった学生（熊本大学工学部物質生命化学科4年生）1名を9月15日～10月31日の間受け入れて、必修である卒業研究に必要な実験場所・薬品等の提供及び研究指導等の支援を行う予定。

5. 研究活動

- 火山流体研究センターの野上健治教授は、熊本地震の影響で被災し機能が出来ない「阿蘇火山観測所」の移転や阿蘇火山の観察をおこなうため、4月22日～4月25日、阿蘇火山観測所で観測補助などを行った。
- 環境・社会理工学院の教員・学生等は、熊本地震以降十数回、熊本市・益城町・その周辺地域において、被害調査・余震観測等を行った。（のべ33名）

6. その他

- 学生ボランティアグループが、ホームカミングデーにおいて熊本物産展を開催した。
<http://www.siengp.titech.ac.jp/news/160521.pdf>
<http://www.siengp.titech.ac.jp/news/160602.html>